

研究トピックス【生物多様性特集】

多様な生きものを育む有機栽培水田を調査中！

Investigating an organic rice paddy field conserving biodiversity

本研究は「農林水産省委託プロジェクト研究」で実施しています。

新城市には、レンゲや雑草を抑制するウキクサなどを肥料として活用し、耕うんや畦の草刈りを最小限にして、25年間有機農業を継続している水田があります。

この水田は一般水田より害虫の発生が少なく、畦の植物、土壤動物やカエル類を始めとする多様な生きものが生息する環境であることが分かってきました。

(環境基盤研究部)



レンゲ



キクヅキコモリグモ



シュレーゲルアオガエル



雑草の発生を抑制する
オオアカウキクサ(交雑種)

トンボによるため池周辺環境の評価

Assessment of environment around the irrigation pond using dragonfly assemblage

愛知県内には約3,000のため池がありますが、その周辺環境は様々です。

そこで、ため池の多い知多半島で延べ16か所のため池を調査し、トンボの種数等を指標として、周辺環境を簡易に評価比較できる手法を作成しました。

(環境基盤研究部)



多種のトンボが生息する環境
(ため池-水田-周囲に林)

ため池

環境配慮工法による希少魚の保全

Conservation of endangered fish by environmentally-conscious construction method

カワバタモロコなどの希少魚は、生息環境の変化の影響を受けやすく、水路の改修工事等では、水田生態系への配慮が必要です。そこで、希少魚が生息できる環境を保全するため、高水期に多様な水深を保つ階段状の護岸や、低水期に退避場所となるワンド(よどみ)などを組み合わせた環境配慮工法を検証しています。

(環境基盤研究部)



環境配慮工法の例

カワバタモロコ
(絶滅危惧Ⅱ類)

階段状の護岸

高水期の繁殖・成育場所
(多様な水深と植生確保)

高水期水位

ワンド

低水期の退避場所
(水深確保と流速緩和)

編集・発行 Editing & Publishing

愛知県農業総合試験場

Aichi Agricultural Research Center

〒480-1193愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1

TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部) FAX 0561-63-0815

http://www.pref.aichi.jp/nososi/

